

インドネシア・ジャカルタにおいて防災投資をテーマとした国際セミナーをインドネシア大学及びインドネシア防災専門家協会と共同で開催しました（2023/2/28）

テーマ：防災投資、気候変動適応、インドネシア、国際共同研究
会場：Le Meridien Jakarta、オンライン（Zoom webinar）

2023年2月28日（火）、当研究所はインドネシア・ジャカルタにおいて、インドネシア大学心理学部及びインドネシア防災専門家協会（IABI）と共同で国際セミナー「Investment in disaster risk reduction and climate change adaptation: Transdisciplinary perspectives」を開催しました。本国際セミナーは、ハイブリッド形式で開催され、全体で約80名の参加がありました。

今村文彦所長、Bagus Takwin 学部長による開会挨拶の後、Syamsul Maarif 元国家防災庁長官からインドネシアの防災投資に係る基調講演が行われました。続いて、Hizir Sofyan 前シャクアラ大学副学長ほか4名のパネリストによる研究発表・討論が行われ、会場からも多くの質問が出るなど、盛会のうちに終えることができました。

【当研究所からの登壇者】

佐々木 大輔 准教授（モデレーター）（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）

地引 泰人 客員研究員（パネリスト）（津波工学研究分野）

今日では、人口の増加や都市化の進展に伴い、特に発展途上国において、より多くの人々が災害リスクにさらされています。また気候変動は、既存のリスクをさらに深刻化させ、新たなリスクを惹起しています。このような状況の下でレジリエンスを構築するためには、防災と気候変動適応により多くの投資を行うことが必要不可欠です。今後も、これらの投資を拡大する上での課題を明らかにし、レジリエントで持続可能な社会の実現に向けた政策や革新的なアプローチ等を提言していきます。



開会挨拶（今村文彦所長）



開会挨拶（Bagus Takwin 学部長）



基調講演（Syamsul Maarif 元国家防災庁長官）



パネルディスカッションの様子



集合写真

文責：佐々木大輔
（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）